



リヒャルト・ワーグナー

# トリスタンとイゾルデ

Tristan und Isolde / Richard Wagner

2024年3月14日(木)～3月29日(金)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2024年1月6日(土) 10:00～ 前売開始



伝説の舞台、ついに再演……！

媚薬の魔力で結ばれた愛を描く ワグナー至高の傑作

『トリスタンとイゾルデ』2010年公演より

## 大野和士×デイヴィッド・マクヴィカーの伝説の『トリスタンとイゾルデ』、ついに再演

2010/2011シーズンに大野和士指揮、デイヴィッド・マクヴィカー演出で上演し、センセーションを起こした伝説の舞台『トリスタンとイゾルデ』がついに再演されます。最高潮の期待の中で開幕、チケットを入手できた幸運な観客が冴え渡った演奏と美しい舞台に酔いしれた初演から13年。幻のプロダクションと囁かれていた伝説の舞台を、世界第一線を走り続けるオペラ指揮者であり、新国立劇場オペラ芸術監督としての近年の活躍も高く評価される大野和士自らが指揮台に立ち、満を持して皆様へお届けします。

## ケール、キンチャ、シリンス、シュヴィングハマー、藤村。最高峰のワーグナー歌手が集結

ワーグナー楽劇の最高傑作と称えられる大作『トリスタンとイゾルデ』は、正味4時間半に渡り身を焦がすような音楽で官能と高揚が描かれる、ワーグナーの魔力の結晶といえる作品。禁断の愛を描くワーグナー至高の傑作にトルステン・ケール、リエネ・キンチャと大野の信頼厚いワーグナー歌いが登場。さらにヴィルヘルム・シュヴィングハマー、エギルス・シリンス、藤村実穂子と最高峰のワーグナー歌手が集結します。オーケストラピットには大野が音楽監督を務める東京都交響楽団が入ります。

&lt;資料のご請求、ご取材のお問い合わせ&gt;

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y1307@nntt.jac.go.jp

## 大野和士×デイヴィッド・マクヴィカー伝説の舞台

大野和士指揮、デイヴィッド・マクヴィカー演出の夢の顔合わせで新制作上演し、センセーションを起こした『トリスタンとイゾルデ』がオペラパレスへ再登場します。2010 年年末に開幕したこのプロダクションは、チケットも瞬く間に完売、音楽ファンが注視する熱狂的な期待の中で上演され、開幕するや、夢幻と官能を繊細に描出した演奏と、象徴的で美しい舞台とが絶賛されて、オペラ指揮者大野和士の並々ならぬリーダーシップを鮮烈に印象付ける大きな話題となりました。再演が渴望され「幻のプロダクション」とファンの中で囁かれていた伝説の舞台が、大野自らの指揮でついに再演されます。

マクヴィカー演出の『トリスタンとイゾルデ』は夜の世界。禁断の愛に目覚める序幕と愛の死を迎える終幕は月が支配し、愛の歎びを迎える第2幕は漆黒の闇に星が煌めき、理性と対比される闇の世界を印象付けます。美しく一貫して象徴的な舞台で求心力あるドラマが展開し、研ぎ澄まされた音楽の甘美なうねりが観客を惹きつけてやみません。



## 媚薬の魔力で結ばれた禁断の愛 ワーグナー畢竟の傑作『トリスタンとイゾルデ』



ワーグナー円熟期の楽劇『トリスタンとイゾルデ』はワーグナー楽劇の最高傑作とも称えられており、愛と苦悩が身を焦がすような音楽で描き上げられ、ワーグナーの魔力を全身で感じていただける作品です。ワーグナー楽劇ならではのライトモチーフ(人物や状況を示すモチーフ)や、旋律から新しい旋律へと連綿と繋がる無限旋律がふんだんに用いられるだけでなく、ワーグナーは『トリスタンとイゾルデ』で半音進行を突き詰め「トリスタン和音」と称される不安定な響きの和声を生み出して、官能と昂揚を表現しました。単独で演奏されることも多い前奏曲、そしてクライマックスの「イゾルデの愛の死」は特に有名で、甘美なうねりが聴くものをカタルシ

スに導きます。

芸術監督・大野和士はオペラ史上の革命的作品であるこの作品をオペラファンの方々へ届けたいと強い信念を持ち、またこれまでのシーズンの数々の公演を体験した観客の皆様には更に深くこの作品を感じていただけると信じ、今こそ再演の時を迎えたと意気込みます。

## 世界最高峰のワーグナー歌手が集結



題名役トリスタンには、世界最高峰のヘルデンテノールとして主要劇場で活躍し、日本でも人気を誇るトルステン・ケールが登場。イゾルデにはワーグナー歌手として欧州各地で活躍するリエネ・キンチャが出演します。

さらに、マルケ王に若手ワーグナー歌いのトップと目され、バイロイト音楽祭にも出演を重ねるヴィルヘルム・シュヴィングハマー、従者クルヴェナールにワーグナー歌手として日本でもおなじみの名バス・バリトン、エギルス・シリンス、ブランゲーネには日本が世界へ誇るメゾ藤村実穂子と、ワグネリアンには見逃せないトップ歌手陣が集結。メロートの秋谷直之をはじめ、国内からも大野の信頼厚い歌手陣が揃う、盤石の布陣です。

そして、最近ではブリュッセル・フィルハーモニック、東京都交響楽団での演奏に加え、ロンドン響、大成功を取めたパリ管の「メトロポリス」、モネ劇場 23/24 シーズン開幕公演『カッサンドラ』(世界初演)などで国際的反響を呼び、情熱、知性と共に繊細さ、構築力に富んだ演奏がますます評価される指揮者大野和士の円熟にも注目が集まります。この春、国内外の音楽ファンが注目する大型公演です。クラシック通の方も、ワーグナーに挑戦してみたいという方も、ワーグナーの至高の愛の世界、ワーグナーの魔力に全身で没頭できる貴重な公演をお見逃しなく。

## <「トリスタンとイゾルデ」あらすじ>

コーンウォールのマルケ王の甥の騎士トリスタンは、アイルランドの王女イゾルデを王の妃として迎えに行く。かつて愛し合った経験のある二人は毒薬で心中を図るが、侍女ブランゲーネの手により毒薬は愛の媚薬にすり替えられていた。二人の愛は燃え上がり逢瀬を重ねるが、密会の場面に王に見つかり、トリスタンは王の家臣メロートの剣により重傷を負う。トリスタンは故郷の城でイゾルデを待ち、やっと到着した彼女の腕の中で息を引き取る。イゾルデもまた彼を負い愛の死を迎える。



## <主要キャスト・スタッフプロフィール>

### 【指揮】大野和士

東京藝術大学卒業後、バイエルン州立歌劇場でサヴァリッシュ、パタネー両氏に師事。ザグレブ・フィル音楽監督、バーデン州立歌劇場音楽総監督、ベルギー王立モネ劇場音楽監督、アルトゥーロ・スカニーニ・フィル首席客演指揮者、リヨン歌劇場首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督を歴任。現在、新国立劇場オペラ芸術監督(2018年～)及び東京都交響楽団音楽監督、ブリュッセル・フィルハーモニック音楽監督。これまでにボストン響、ロンドン響、ロンドン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フランクフルト放送響、パリ管、フランス放送フィル、スイス・ロマンド管、イスラエル・フィルなど主要オーケストラへ客演を重ね、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、エクサン・プロヴァンス音楽祭など主要歌劇場や音楽祭で数々のプロダクションを指揮。新作初演にも意欲的で、数多くの世界初演を成功に導いている。17年にはリヨン歌劇場がインターナショナル・オペラ・アワード「最優秀オペラハウス」を獲得し、フランス芸術文化勲章オフィシエを受勲。日本芸術院賞、サントリー音楽賞、朝日賞など受賞多数。文化功労者。最近ではブリュッセル・フィルハーモニック、東京都交響楽団での演奏に加え、大成功を収めたパリ管の「メトロポリス」、モネ劇場『カッサンドラ』(世界初演)などで反響を呼ぶ。新国立劇場では1998年『魔笛』、2010～11年『トリスタンとイゾルデ』、19年『紫苑物語』『トゥーランドット』、20年『アルマゲドンの夢』、21年『ワルキューレ』『カルメン』『Super Angels スーパーエンジェル』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』、22年『ペレアスとメリザンド』『ボリス・ゴドゥノフ』、23年『ラ・ボエーム』『シモン・ボッカネグラ』を指揮している。

### ONO Kazushi



### 【演出】デイヴィッド・マクヴィカー

グラスゴー生まれ。王立スコットランド音楽演劇アカデミーで学ぶ。これまでにメトロポリタン歌劇場『ロベルト・デヴェリュー』『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』『ジュリオ・チェーザレ』『アンナ・ボレーナ』『マリア・ストウアルダ』『イル・トロヴァトーレ』、ミラノ・スカラ座『トロイ人』、ウィーン国立歌劇場『トリスタンとイゾルデ』『ファルスタッフ』、英国ロイヤルオペラ『リゴレット』『魔笛』『ファウスト』『アンドレア・シェニエ』『ヴェニスに死す』、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、スコティッシュ・オペラ『放蕩者のなりゆき』『蝶々夫人』『椿姫』『イドメネオ』『ホフマン物語』、オペラ・ノース『ドン・ジョヴァンニ』『羊飼いの王様』、シカゴ・リリック・オペラ『ヴォツェック』『ビリー・バッド』『ジュリオ・チェーザレ』、マリンスキー劇場『ねじの回転』『マクベス』、リセウ大劇場、モネ劇場、シャンゼリゼ劇場、フランクフルト歌劇場『アグリッピーナ』、シカゴ・リリック・オペラ、オペラ・オーストラリア、エクサン・プロヴァンス音楽祭『皇帝ティートの慈悲』、グラインドボーン音楽祭『後宮からの誘拐』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』、ラン歌劇場『ニーベルングの指環』四部作などを演出している。2012年のダイヤモンド・ジュビリー叙勲者としてナイトの称号を授与され、同年、フランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエを授与された。

### David McVICAR



### 【トリスタン】トルステン・ケール(テノール)

ドイツ生まれ。オーボエ奏者としてオーケストラで活躍後、歌手に転向し瞬間に成功を収めた。現代最高のヘルデンテノールの一人として、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、サンフランシスコ・オペラ、英国ロイヤルオペラ、ザクセン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、オランダ国立オペラ、バイエルン州立歌劇場など世界の著名劇場で活躍している。主なレパートリーにはパルジファル、ローエングリン、タンホイザー、トリスタン、ローゲ、ジークムント、ジークフリートなどワーグナー諸役のほか、『魔弾の射手』マックス、『死の都』パウル、『低地』ペドロ、『影のない女』皇帝、『カルメン』ドン・ホセ、『サムソンとデリラ』サムソン、『オテロ』タイトルロール、『ボリス・ゴドゥノフ』グリゴリーなどがある。パイロイト音楽祭(『タンホイザー』『さまよえるオランダ人』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』)、ザルツブルク音楽祭(モーツァルト『レクイエム』、『ダナエの愛』『死の都』)、エディンバラ音楽祭、グラインドボーン音楽祭、サヴォンリンナ・オペラ・フェスティバルなどにも出演を重ねるほか、ウィーン・フィル、ロンドン・フィル、ロンドン響、ベルリン・フィル、アムステルダム・コンセルトヘボウ管、フランス国立管、シュターツカペレ・ドレスデンなどに定期的に客演している。新国立劇場では2010年『カルメン』ドン・ホセ、14年『死の都』パウル、19年『タンホイザー』タイトルロールに出演。

### Torsten KERL



**【マルケ王】ヴィルヘルム・シュヴィングハマー (バス)****Wilhelm SCHWINGHAMMER**

バイエルン出身。若手世代で最高峰のバス歌手のひとり。ベルリン芸術大学で学びハンブルク州立歌劇場ヤング・アーティスト・プログラムに参加、2006年～17年はハンブルク州立歌劇場専属歌手として活躍。レパートリーはバロックから現代音楽まで広範に及び、『フィガロの結婚』フィガロ、『ドン・ジョヴァンニ』レポレツコ、『魔笛』ザラストロ、『ローエングリン』ハインリヒ国王、『トリスタンとイゾルデ』マルケ王、『タンホイザー』領主ヘルマン、『さまよえるオランダ人』ダーラント、『フィデリオ』ロッコ、『リゴレット』スバラフチーレ、『エレクトラ』オレスト、『ばらの騎士』オックス男爵などバスの重要な役をレパートリーに、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、リヨン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ロサンゼルス・オペラなど各地の主要劇場に出演。パイロイト音楽祭『ローエングリン』ハインリヒ国王、ハンブルク州立歌劇場『フィガロの結婚』タイトルロール、『後宮からの逃走』オスミン、シカゴ・リリック・オペラ『ラインの黄金』新制作のファゾルトは特に成功を収める。パイロイト音楽祭へは12年以来出演を重ね、19年、21年には『タンホイザー』、22年は「ニーベルングの指環」ファフナーで再登場した。新国立劇場初登場。

**【イゾルデ】リエネ・キンチャ (ソプラノ)****Liene KINČA**

ラトヴィア生まれ。ラトヴィア音楽院で学ぶ。05年ラトヴィア国立歌劇場に『イェヌーフ』カロルカでデビュー。その後『仮面舞踏会』アメリア、『アイダ』『トスカ』タイトルロール、『スペードの女王』リーザ、『ワルキューレ』ジークリンデ、『神々の黄昏』グートルーネなどに出演。12年より欧州各地に活躍の場を拡げ、フランダース・オペラ『エレクトラ』クリソテミス、フライブルク歌劇場『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、ブランシュヴァイク歌劇場『スペードの女王』リーザなどで成功を収める。これまでに、フランダース・オペラ『さまよえるオランダ人』ゼンタ、『タンホイザー』エリーザベト、『ローエングリン』エルザ、スロヴァキア国立歌劇場『アイダ』タイトルロール、フェニーチェ歌劇場、ベルン歌劇場『タンホイザー』エリーザベト、アン・デア・ウィーン劇場『ニーベルングの指環』編曲版ジークリンデ、グートルーネなどに出演。最近では、ジュネーヴ大劇場『戦争と平和』マリヤ、ラトヴィア国立歌劇場『ナブッコ』アビガイッレ、『トスカ』タイトルロール、エストニア・ヴァナムイ劇場『トリスタンとイゾルデ』イゾルデ、ライプツィヒ歌劇場『タンホイザー』エリーザベトなどに出演している。新国立劇場では19年『タンホイザー』エリーザベトに出演した。

**【クルヴェナール】エギルス・シリンス (バス・バリトン)****Egils SILINS**

ラトヴィア出身。ラトヴィア国立歌劇場でデビュー後、ウィーン国立歌劇場にデビュー。ブレゲンツ音楽祭『デーモン』タイトルロールで称賛され、サヴォンリンナ・オペラ・フェスティバル、グラインドボーン音楽祭などの著名音楽祭に出演。ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、リセウ大劇場、テアトロ・レアル、チューリヒ歌劇場、バイエルン州立歌劇場などに定期的に登場。「ニーベルングの指環」ヴォータン、さすらい人、『パルジファル』クリングゾル、アムフォルタス、『トリスタンとイゾルデ』クルヴェナール、『サロメ』ヨハナーン、『エレクトラ』オレスト、『ボリス・ゴドゥノフ』タイトルロール、『オテロ』イアーゴ、『トスカ』スカルピアなどレパートリーは70に及ぶ。最近の出演に、パイロイト音楽祭『ラインの黄金』ヴォータン、ウィーン国立歌劇場『ローエングリン』テルラムント、英国ロイヤルオペラ『フィデリオ』ドン・フェルナンド、デンマーク王立歌劇場『トリスタンとイゾルデ』クルヴェナール、ラトヴィア国立歌劇場『椿姫』ジェルモン、ビルバオ・オペラ『サムソンとデリラ』大祭司、ヴィースバーデン五月音楽祭『エレクトラ』オレスト、ベルリン・ドイツ・オペラ『さまよえるオランダ人』タイトルロールなどがある。新国立劇場では14年『パルジファル』アムフォルタス、23年『ホフマン物語』悪役四役に出演している。

**【ブランゲーネ】藤村実穂子 (メゾソプラノ)****FUJIMURA Mihoko**

ヨーロッパを拠点に国際的な活躍を続ける、日本を代表するメゾソプラノ歌手。東京芸術大学音楽科卒業、同大学大学院及びミュンヘン音楽大学大学院修了。主役級としては日本人で初めてパイロイト音楽祭にデビューし、フリッカ、クンドリー、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダなどの主役で9シーズン連続出演。メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、パリ・シヤトレ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザクセン州立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、バルセロナ・リセウ歌劇場、ザルツブルグ祝祭大劇場等に出演の他、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィル、ティーレマンパリ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、スイス・ロマンダ管等の世界的なオーケストラ、ティーレマン、アバド、メータ、エッシェンバッハ、シャイー、ヤンソンス、ネルソンス、ネゼ＝セガン、ガッティ、ドゥダメル等の著名指揮者と共演している。またブランゲーネ役でプラシド・ドミンゴとのCD録音「トリスタンとイゾルデ」(EMI)でも各方面より注目を浴びた。2002年出光音楽賞、03年芸術選奨文部科学大臣新人賞、07年エクソンモービル音楽賞、13年サントリー音楽賞、14年紫綬褒章をそれぞれ受賞。新国立劇場では『ラインの黄金』(01年)と『ワルキューレ』(02年、21年)フリッカ、『ドン・カルロ』エポリ公女(01年)、『神々の黄昏』ヴァルトラウテ(04年)、『イドメネオ』イダマンテ(06年)、『ウェルテル』シャルロット(19年)に出演。



新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ  
リヒャルト・ワーグナー **トリスタンとイゾルデ** 全3幕 〈ドイツ語上演/日本語及び英語字幕付〉  
Tristan und Isolde/Richrad Wagner

【公演日程】 2024年3月14日(木)16:00/17日(日)14:00/20日(水祝)14:00/23日(土)14:00/  
26日(火)14:00/29日(金)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:31,900円・A:26,400円・B:18,700円・C:13,200円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売り開始】 2024年1月6日(土) 10:00~

※予定上演時間 約5時間45分(休憩含む)

指揮 .....	大野和士	トリスタン .....	トルステン・ケール
Conductor	ONO Kazushi	Tristan	Torsten KERL
演出 .....	デイヴィッド・マクヴィカー	マルケ王 .....	ヴィルヘルム・シュヴィングハマー
Production	David McVICAR	König Marke	Wilhelm SCHWINGHAMMER
美術・衣裳 .....	ロバート・ジョーンズ	イゾルデ .....	リエネ・キンチャ
Set and Cosutume Design	Robert JONES	Isolde	Liene KINČA
照明 .....	ポール・コンスタブル	クルヴェナール .....	エギルス・シリンス
Lighting Design	Paule CONSTABLE	Kurwenal	Egils SILINS
振付 .....	アンドリュウ・ジョージ	メロート .....	秋谷直之
Choreographer	Andrew GEORGE	Melot	AKITANI Naoyuki
再演演出 .....	三浦安浩	ブランゲーネ .....	藤村実穂子
Revival Director	MIURA Yasuhiro	Brangäne	FUJIMURA Mihoko
舞台監督 .....	須藤清香	牧童 .....	青地英幸
Stage Manager	SUDO Sayaka	Ein Hirt	AOCHI Hideyuki
		舵取り .....	駒田敏章
		Ein Steuermann	KOMADA Toshiaki
		若い船乗りの声 .....	村上公太
		Stimme eines jungen Seemanns	MURAKAMI Kota

合唱指揮 .....	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱 .....	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽 .....	東京都交響楽団
Orchestra	Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

芸術監督 .....	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

※『トリスタンとイゾルデ』イゾルデ役に出演を予定しておりましたエヴァ＝マリア・ヴェストブルックは、本人の都合により出演できなくなりました。代わりまして、リエネ・キンチャが出演いたします。

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/tristan-und-isolde/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)  
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* 乙席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】

新国立劇場『トリスタンとイゾルデ』2010年公演より 撮影：三枝近志